

◆新地方卸売市場整備費(基本構想と基本設計等)比較

単位:千円

区分		基本構想 (A)	基本設計等 (B)	比較 (B-A)
土地	測量・設計等委託	44,236	21,624	△ 22,612
	造成費	283,016	273,688	△ 9,328
	計	327,252	295,312	△ 31,940
建物	設計・地盤調査・ 工事監理・手数料等	104,442	116,870	12,428
	建築費	2,311,930	3,760,166	1,448,236
	計	2,416,372	3,877,036	1,460,664
合計[ア]		2,743,624	4,172,348	1,428,724
交付金試算[イ]		331,839	944,809	612,970
起債元金(ア-イ)[ウ]		2,411,700	3,227,500	815,800
起債利息(20年)[エ]		251,240	361,149	109,909
交付金除く経費(ア-イ+エ)		2,663,025	3,588,688	925,663
後年度の単年負担額(20年)		133,151	179,434	46,283

◆新地方卸売市場の基本構想と基本設計の建築費比較(概要)

区分	施設	単位: m ²			単位: 千円		
		構想面積 【m ² 】 (A)	基本設計 面積【m ² 】 (B)	差 (B-A)	構想 建築費 (C)	基本設計 建築費 (D)	設計: 構想 差 (D-C)
青果	青果棟・附属棟	11,166.00	14,696.72	3,530.72	1,493,187	2,376,305	883,118
	管理棟	2,263.75	2,580.97	317.22	384,760	629,486	244,726
	青果建物計	13,429.75	17,277.69	3,847.94	1,877,947	3,005,791	1,127,844
花き	花き棟	710.00	928.00	218.00	140,561	238,762	98,201
	管理棟	174.25	204.38	30.13	34,497	48,758	14,261
	花き建物計	884.25	1,132.38	248.13	175,058	287,520	112,462
建物計		14,314.00	18,410.07	4,096.07	2,053,005	3,293,311	1,240,306
				外構	258,925	466,855	207,930
				建築費計	2,311,930	3,760,166	1,448,236
				m ² 単価(円)	161,515	204,245	42,730

○主な構想からの増大要因

基本構想時は、青果部、花き部の卸売場(セリ場)、倉庫、買荷保管・積込所等を同一の屋根下に集約した1棟と市場管理事務所、関連店舗等が入居する1棟に集約した整備構想でありましたが、移転先庄内工業団地グラウンドの土地形状や市場関係者との協議等を踏まえ精査を重ねた結果、青果部と花き部と使用施設を分離し、青果部は卸売場(セリ場)、倉庫、荷分け場にまとめ、作業効率性・安全性に配慮した中央通路を拡張した設計に見直しました。

また、冷蔵機能を強化する品質管理は必須のため、冷蔵倉庫の面積増や降雨や日差しによる高温化を避ける屋根付き積込み所を設置、また、買受人倉庫は、セリ場棟の混雑を避けるため場外設置に見直しています。

花き部については、管理棟との集約に見直し、セリ場、倉庫、冷蔵庫など卸売会社、組合事務所との連動性についても配慮した設計に見直しております。

●事業費増等の内訳について

① m²単価上昇による影響額 624百万円増

② 面積増による影響額 662百万円増

《面積・建築費増加の主な施設》

- ・卸売会社冷蔵倉庫等 1,843m²増、471百万円増
- ・買荷保管・積込所 1,095m²増、315百万円増
- ・青果棟内通路 803m²増、90百万円増
- ・連絡通路・フォークリフト充電所(皆増) 385m²増、90百万円増

③ 労務単価、資材単価が7%上昇の影響額が162百万円増

